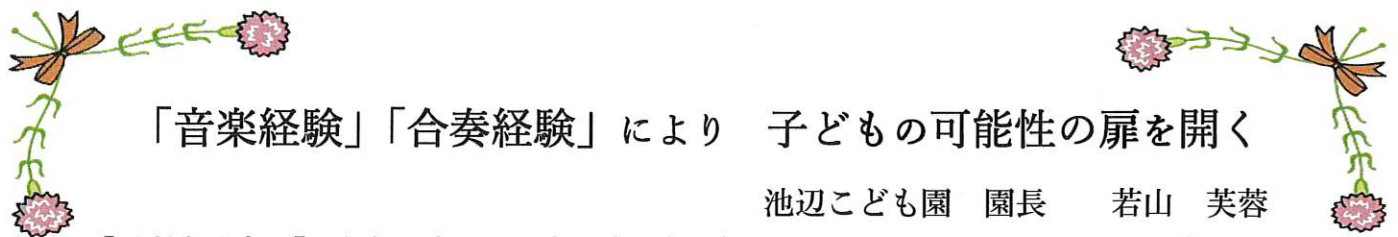




池辺こども園 園長からの手紙

令和3年6月



「音楽経験」「合奏経験」により 子どもの可能性の扉を開く

池辺こども園 園長 若山 芙蓉

「子どもは宝」「天からの恵み」です。その大切な子ども一人ひとりが、かけがえのない人として、豊かに成長して行くことは、誰もが望んでいることだと思います。池辺こども園では、子どもが豊かに成長して行くために、一人ひとりに丁寧に寄り添い、その成長をしっかりと支え、育んでいこうと考えています。

特に、音楽のもつ魅力を楽しみながら、同時に「音楽経験」「合奏経験」を通して「知性・感性・人間性の源」にかかわる一人ひとりの素晴らしい可能性を引き出すように、教育・保育をすすめています。

さて、乳幼児期に「音楽に触れる経験」や「合奏経験」をすると、子どもにどのような影響がもたらされるのでしょうか。音楽の経験は、子どもの心身の発達に密接に関係するといわれています。また、最近の心理学や脳科学の分野では、音楽経験と子どもの発達との関連が注目されています。具体的には、「音楽経験」や「合奏経験」は、子どもに、次のような影響をもたらすと考えられます。

- ◇自分で「奏でる楽しさ」を感じる
- ◇「やれば、できる」という自己効力感を味わう
- ◇調和や協調の大切さ・心地よさを感じる
- ◇友達と協力する・思いやりの心をもつ・指揮に合わせる・落ち着いて行動する、など社会性が向上する
- ◇みんなと「いっしょが楽しい」経験ができる
- ◇「力を合わせて曲をつくり上げる」という共同作業の体験ができる
- ◇メロディー、リズム、伴奏など、複雑な構成を「集中し」「聴く」能力が発達する
- ◇論理的で数学的要素の豊富な楽譜に親しむ経験によって、知能（IQ）が向上する
- ◇音を聞き取る力の高まりによる、言葉の習得や理解力が向上する
- ◇音楽は右脳を発達させます。幼少期から右脳を活性化させることで、ひらめきや感性、発想力が豊かになります。右脳教育は子どもの可能性を広げる教育方法とも言われています。

このように、「音楽経験」や「合奏経験」は、子どもに、とても良い影響を与えることが期待されます。

さらに、「音楽経験・合奏経験」などを通し、「一人ひとりが輝き、友達同士の絆を深め、クラス集団の心が一つに」なっていきます。このようなささやかな日々の積み重ねは、子ども一人ひとりが大きく成長していく糧（かて）となります。私達は、保護者の皆様とともに、子ども一人ひとりの無限の可能性の扉を大きく開いていきたいと願っております。ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

